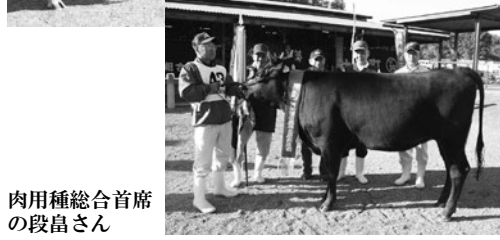


乳用種総合首席  
の庄原実業高校



肉用種総合首席  
の段島さん

第90回広島県畜産共進会が10月28日、広島県三次家畜市場で開催され、種畜の部肉用種牛（子牛の部・成牛の部）・乳用種牛（1区・2区）の全4部門で、庄原市内の出品者が優秀賞首席を獲得しました。

本市は繁殖用和牛・乳用牛の産地として広島県内で最大の規模を誇る畜産地帯です。今回の結果により、市内農家の飼養管理技術の高さが改めて示されました。

今後も引き続き、主要な産地として維持発展していけるよう、農家・関係者が一丸となって取り組みを進めていきます。

農業振興課

全出品区で庄原市内農家が首席を獲得！  
広島県畜産共進会

優秀賞受賞者は次のとおりです。

【名号・氏名（敬称略）】

- 肉用種牛 子牛の部  
みつふくのむら5 立川 和幸  
しげば8の1 重藤 豊輝  
さかえゆりひで 木村 英宗  
ゆめしは 牧原 利光  
どいばら8の37 大迫 晴由  
ふくふくさかえ7 平田 祥栄  
みくにしげ 牧 博美  
おきひら9 (農) 有田牧場

●肉用種牛 成牛の部

- ふじひら2の2 段島 覚  
ひでみの2 松浦 隆文  
ばばゆう42 立川 道和  
まさみつひら 兼丸 昌治  
ゆりこ12 沖野 利政  
ふくふくさかえ6 平田 祥栄  
やぎゆう4の3 田原 武之

●乳用種牛 第1区

- WD スパークリング アライアンス  
WD マダム アイオン フィンリー  
和田 慎吾

●乳用種牛 第2区

- シヨウジツ アルマ ヒル オレオ  
シヨウジツクワルク フレディー ミカン  
県立庄原実業高等学校  
ウイステリア ブック LM モギヤナギ  
藤本 卓

市民病院

開かれた市民病院を目指す  
「飛び出す！西城市民病院グループ」  
出前講座スタート！



振興区役員の皆さんに出前講座の内容を説明

西城市民病院は、市民の皆さんが健康で暮らすために必要な情報の提供や、病院、介護事業所が取り組んでいる内容を知ってもらうため、「飛び出す！西城市民病院グループ出前講座」を11月中旬から始めました。

スタートに先立ち11月12日、西城市民病院グループで行われた西城市民病院グループ役員が出向き、14人の役員の方々に出席講演の積極的な利用を呼びかけました。

この事業は、西城市民病院経営改革プラン二次実施計画（平成26年1月策定）に基づき実施し、地域に開かれた市民病院を目指します。

自治振興区や自治会をはじめとする市内の市民などで構成する団体を対象とし、希望するメニューを各自自治振興センターや地域の集会所で実施します。

この講座の申請・問い合わせは、西城市民病院地域連携室（☎0824・82・2611）まで。

比和支所

2年3カ月で来館者一万人達成  
比和自然科学博物館地学分館

比和自然科学博物館地学分館が10月27日、来館者一万人を達成しました。

一人目目の来館者となった、大阪狭山市から訪れた安部直之さん・弘美さんご夫妻には、進藤眞基館長から記念品が贈られました。

二人は館長の案内で博物館をじっくり見学。モグラや昆虫の収蔵数の多さ、化石や岩石に驚き、「こんなに素晴らしい博物館があるとは知らなかった。また今度ゆっくり見学したい」と喜んでいました。

平成24年7月20日にオープン以来、来館者は翌年度には4千人を数



進藤館長から記念品を受け取る安部さん

え、本年度もすでに3千人を超えるなど、徐々に人気が出ています。

これからも来館者が楽しく学習でき、親しんでもらえる博物館を目指して、努力していきます。

生涯学習課

バレーボールの基礎基本を学ぶ  
レベルアップスポーツ教室



レシーブ練習に取り組む参加者

恒例の庄原市レベルアップスポーツ教室バレーボール教室を10月18日、庄原市総合体育館で開催し、市内の小学生6年生68人が参加しました。

今回で7回目となるバレーボール教室には、講師のマツダ女子バレーボール部の皆さんを招き、和やかな雰囲気

の中で、参加者はバスやレシーブの基本技術などを学びました。

奥原乙歩百さん（西城小6年）は「レシーブを教えてもらうのが楽しかった。これから、マツダの選手のようにチームを盛り上げて、1つのボールをつなげていきたい」と声を弾ませていました。

情報政策課

第2期庄原いちばん基本計画に  
掲載する事業に関する提言を受ける  
市長懇談会「庄原いちばん談議」開催

市は、市民の皆さんからの意見を市政へ反映するため、市政懇談会や出前トークなどの広聴事業を実施しています。これに加え本年度は、市内の各種団体を対象とした市長懇談会「庄原いちばん談議」を開催しました。

7月から実施団体を公募し、応募があった3団体と懇談。第2期庄原いちばん基本計画（平成27～28年度）への掲載事業に関する提言を受けました。

平成27年度も「庄原いちばん談議」を実施し、幅広く市民の皆さんからご意見を伺う予定です。



東城町教育連携懇談会との懇談の様子

●庄原いちばん談議実施状況

団体名・開催日	懇談の概要
東城町教育連携懇談会 9月22日	「0歳から18歳までの教育をこのまちで」というテーマで懇談し、保育図書・児童図書の充実、英語検定・漢字検定受験の推進と支援などについて
庄原市社会福祉協議会 10月9日	「庄原市における『地域包括ケア』推進をめざして」というテーマで懇談し、庄原市の現状や課題の共有、「地域包括ケア」推進に向け、社会福祉協議会のあり方や今後の連携について
庄原青年会議所 10月20日	○広報しようばらを活用した市民団体の活動PR ○6次産業化を推進する新たなイメージの構築として、庄原産木材をアピールポイントとした、里山文化都市イメージの構築 ○庄原市と企業で連携した若者雇用と定住促進について



生涯学習課

市の文化遺産として後世に  
2つの天然記念物を文化財に指定

市指定の天然記念物として、東城町にある「正安寺の多羅葉」と「三坂のエドヒガン」が新たに加わりました。「正安寺の多羅葉」は、県内の瀬戸内沿岸を中心に自生する多羅葉（タラヨウ）の一つで、県北部の寒冷な気候にもかかわらず大きく育っています。エドヒガンは本州、四国、九州などに広く分布する桜の一種で、「三坂の



正安寺の多羅葉



三坂のエドヒガン

エドヒガン」は高さ20メートルを超える大木になります。学術的にも非常に貴重なこの2件の天然記念物を、市の文化遺産として大切に守り、後世に残す取り組みを進めていきます。

商工観光課

就職希望者と企業とをマッチング  
庄原市合同就職面接会を開催

市とハローワーク庄原が主催する「庄原市合同就職面接会」を11月8日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。この面接会は、近年の厳しい雇用情勢を受け、庄原で働く意欲のある方を広く募り、直接面接による就労支援と企業の人材確保を目的に平成21年度から開催し、昨年は10人が内定しました。当日は、地元企業23社が参加。求職者も幅広く高校生から60歳代までの35人が来場し、受けたい企業、気になる企業に足を運んで担当者の説明を熱心に聞く姿が見られました。参加者からは「Uターンを考えているので、庄原の企業の説明を聞けてよかった」、企業数社から「採用内定を



担当者からの説明を熱心に聞く参加者

出した」といった声が聞かれるなど、求職者と参加企業にとって有意義な面接会となりました。

建設課

ダムの永久堅固と安泰を祈願  
庄原ダム定礎式

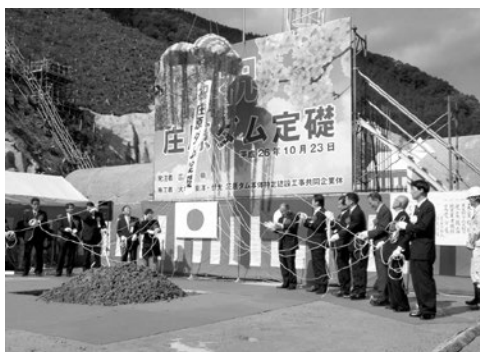
広島県と庄原市の共同事業として川西町で建設を進めている「庄原ダム」の定礎式が10月23日、高垣広徳副知事、木山耕三市長をはじめ、関係機関、地元関係者など約70人が出席する中行われました。

式では永久堅固と安泰を祈願する「定礎の儀」が行われ、施工業者や職員などの手によってダム本体に礎石が埋められました。

広島県北部建設事務所庄原支所の秋山康範支所長は「平成27年度末のダム完成に向けて、鋭意努力してまいります」と述べていました。



礎石の搬入



定礎を祝う出席者

商工観光課

新たな商品開発へ期待膨らむ  
逸品開発審査会を開催

庄原観光いちばん協議会逸品推進部会による逸品開発審査会が11月13日、庄原市保健福祉センターで開催されました。

この審査会は、食材の宝庫を生かした観光地域づくりとして本年度取り組みを進めている「庄原市の逸品づくり事業」で、個別指導などを通じて開発された新たな特産品や料理を客観的な視点で評価し、より精度を高めていくことを目的としています。

この日、部会で選任された8人の審査員が、出品された特産品30品と料理



特産品の審査



料理の審査

14メニューを味や見た目、今後の可能性などの項目ごとに審査しました。審査員からは「地元食材をうまく活用し、思っていた以上にレベルの高いものが多くあった」「消費者ニーズを意識した商品が多くあり、今後どんなものに仕上がっていくのか楽しみ」といった意見がありました。

今後は、審査会での評価を踏まえ、引き続き個別指導などを実施し、パッケージデザインの考案や広く周知していくためのパンフレット作成などの取り組みを進めていく予定です。

児童福祉課

子どもたちの笑顔を守ろう  
オレンジリボンキャンペーン

11月は「児童虐待防止推進月間」と位置づけられており、児童虐待の防止と早期発見・早期支援に向けた取り組みの一環として、庄原市要保護児童対策地域協議会を中心に、市内各所で啓発活動を行いました。

東城町では11月6日、町内にあるショッピングセンターなど3店舗で、民生委員児童委員・子育て推進委員・保護司・子育て支援センター・保育所など、たくさんの構成団体の協力を得て、市民の皆さんに呼びかけました。

遊YOUさろん東城では、東城保育所の年長児37人が「オレンジリボンキャンペーン」に、ご協力お願いします！」と元気な声で、訪れた人たちにオレンジリボンやリーフレットなどを手渡ししました。

近年、核家族化が進み、地域とのつながりが持ちにくいなど、



リーフレットを渡す園児